

『まいてら ～お寺のある生活～』 (寺院向け資料)



日本仏教を現場で支える主役は、地域に密着し、温かい人柄や、整えられた境内で、参詣者を迎える一つひとつの檀家寺です。

そのような良きお寺と、お寺とのご縁を求める生活者との出会いを育み、一人ひとりの人生が心豊かになることに貢献する。これこそが、「まいてら」の願いです。

一方、単身世帯の増加と人口減少、仏事の衰退等、社会環境は厳しさを増しています。今後は、菩提寺にこだわらない人も増えていく時代になるでしょう。

従って、檀信徒や生活者が、お寺とのご縁を末永く安心して続けられるよう、お寺が適切かつ魅力的な情報を伝えていくことは、これから益々重要になります。

「まいてら」は、「安心のお寺10ヶ条」に基づき、それぞれのお寺の魅力を掘り起こし、安心のお寺としての情報を整え、発信します。

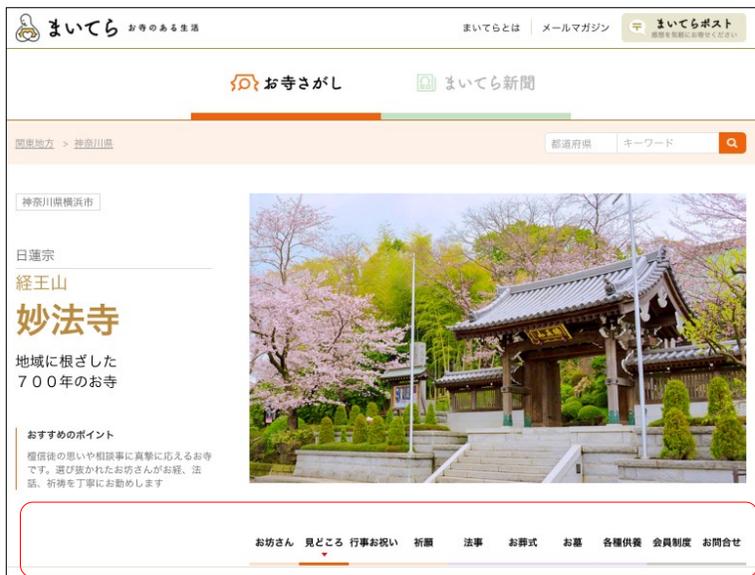
そして、生活者が良きお寺・僧侶と出会い、『私のお寺(=My Tera)』とのご縁を通じて得られる安心の育みに貢献していきます。

まいてらカレンダー、まいてら新聞等の機能を連関させ、寺院ページにアクセスするユーザーを増やします

	提供機能	目的	機能の概要
寺院ページにアクセスを誘導	寺院ページ	お寺の魅力の訴求	『お坊さん紹介』を基軸に、お寺の全体的な魅力を訴求
	まいてらカレンダー	お寺に足を運んでもらう為の行事・イベント情報提供	登録寺院で行なわれる行事・イベントの情報を掲載し、お寺に実際に足を運ぶ人の導線をつくる
	まいてら新聞	お寺やお坊さん、仏事への親近感醸成	お寺・お坊さん・仏事・仏教に関する情報発信や特集企画により、様々な世代の興味関心を集める

登録寺院は、『まいてら』に個別の「寺院ページ」を持ちます。「寺院ページ」はテーマごとに分かれた最大10ページ(タブ)で構成され、お寺の魅力を訴求します

【基本タブ】 → すべての寺院が作成するタブ



※タブ選択エリア

タブ名	内容
お坊さん紹介	お坊さん・スタッフ紹介
見どころ	寺宝・建物などの見どころ紹介、歴史
行事・お祝い	行事、活動、慶事(結婚式・初参式・七五三など)
法事	法事のご案内
会員制度	会員制度のご案内
問い合わせ	お問合せ用メールフォーム

【オプションタブ】 → 希望した寺院のみが作成するタブ

タブ名	内容
お墓	墓地、納骨堂、永代供養墓、樹木墓地、ペットのお墓など
お葬式	お葬式のご案内、本堂葬のご紹介
祈願	祈願・祈祷のご案内
各種供養	水子供養、人形供養、ペット供養など各種供養のご案内



お寺にお参りするきっかけとなる行事・イベント・季節の見どころ情報を掲載します

【寺院ページ「行事・お祝い」タブに行事予定表が追加】



神奈川県川崎市中原区

浄土真宗本願寺派

覺王山
高願寺

川崎最古の寺子屋発祥のお寺

おすすめのポイント
開法約で緑の多い境内は良い散歩コース。新開の古民家を移築した坐心學舎での催しや音楽会など、地域に開かれたお寺

お坊さん 見どころ 行事お祝い 祈願 法事 お開式 お参り 各種供養 会員制度 お問い合わせ

「現代の寺子屋」として、学べて楽しめる催しをおこなっています

高願寺には、江戸時代に寺小屋がありました。地域に住む方々の子弟の学びの場でした。お寺が、地域で果たしてきた信仰の場であり、かつ教育、文化の伝達の間であったことから、現代においてもそのような場でありたいとねがっています。

カレンダー

2016年11月2日 (水)	伝統行事	報恩講法要

【個別紹介ページ】



お寺のある生活をおくるための
まいてらカレンダー
mytera calendar

2016年11月2日～3日 神奈川県川崎市中原区 覺王山 高願寺

法話と落語が聴ける、覺王山 高願寺 報恩講

2016年11月2日～3日 | 神奈川県川崎市中原区 覺王山 高願寺

イベントの種類ですが

- 日か
- 坐禅
- 伝統行事

まいてらだより
お寺情報が満載のメルマガ

毎年、酒堂のご恩顧の方々においでいただき、ありがとうございます。
今年も二日にわたり勤修いたします。どうぞ、ご家族でお参りください。

11月2日
夜7時より 報恩講法要(初夜法要) 御堂(本堂)にて
引き継ぎ 落語 一席 演目『寿辰無』(およそ15分)
多田修彦 大田区真光寺副住職 慶應大学落研出身
★夜のお寺もきれいです。ぜひお参りください。

11月3日
11時30分～ お茶(とき)(昼食) 坐心學舎にて
12時45分 婦人会の方々の手作りのお茶です。どうぞ、お召しあがりください。
13時～45分 報恩講法要(日中法要) 御堂にて
引き継ぎ 法話 中川清昭師 福岡県筑紫野市願成寺住職
15時ごろ 終了

「お坊さん」「お寺」「仏教」「仏事」に関する記事が掲載されます。様々な世代の興味・関心を惹き、寺院ページへ誘引するとともに、『まいてら』のリピート・ユーザーを継続的に増加させます



連載名	内容
おてらびと物語	住職・副住職へのインタビュー(寺院ページよりリンク)
お坊さんと味わうことばの世界	お坊さんの「お気に入りのことば」を、仏教的な味わいとともに紹介
まいてら編集部日記 まいてらWalker	まいてら編集部によるコラムや、まいてらの使い方ガイドなどを掲載
おてらおやつクラブ-お寺の社会福祉活動-	日常生活に生きる知恵の中から、仏教由来の知恵を紹介
檀家さん、こんにちは	登録寺院の檀信徒へインタビュー。「お寺のある生活」の魅力や菩提寺の安心感について聞く
死を想って、生きること	様々な職業のゲストに、「死生観」について聞くインタビュー連載

【アクセス】

- 登録寺院が増えるとアクセスが増加（→お寺そのものが情報コンテンツとしての魅力）
- 「お盆」の時期はアクセスが増加（→お盆から秋彼岸がゴールデン月間）
- 宗派の重要行事（例：報恩講、荒行）は、検索による流入が多い（→今後、各宗派の代表行事の記事（大般若祈禱会、お十夜など）を整えていく予定）
- メディア取材は新聞よりもTVの影響が大きい。最近「終活」が取材のキーワード

【使われ方】

- 生活者がインターネットでお寺の情報を見て、電話で寺院に問い合わせるパターンが主流（→お寺に関することは、直接聞かないと分からない）
- 検索キーワードで「宗派」は一定の存在感（→「うちの宗派は何だっけ？」の言葉は広く知られている）
- お墓・納骨堂、法事、水子供養、悩み相談などの問合せが多い
- 僧侶の人柄が分かる記事は安定的に読まれている（→参詣者に安心と話題の提供）

【寺院運営における効用】

- 第三者評価（安心のお寺10ヶ条）によって、檀信徒や有縁の人にお寺の方向性を伝えやすい

登録寺院の声

『「故郷の宗派」や「故人の希望」通りのお寺を探す方のために』

東京都 臨済宗妙心寺派 龍雲寺 細川晋輔 住職

葬儀は火葬場や式場の都合で次々と進むため、菩提寺の無い方が「故郷の宗派」や「故人の希望」通りのお寺に出会うことは難しいです。しかしお寺からご遺族へアプローチすることも現実的ではありません。そこで、『まいてら』のような存在が、仏教を心の拠り所にする人たちの支えになると信じています。



『先祖の宗派での仏事を求める方との出会い』

愛知県 真宗高田派 正太寺 大河戸悟道 住職

菩提寺の老僧が法務を続けられなくなってしまい、真宗高田派の寺院を探していた方とのご縁が結ばれました。ネット検索ではお寺の詳細がわからず相談が憚られる中、情報が豊富な『まいてら』で真宗高田派のお寺を見つけ、「助かった!」と思われたそうです。



『お墓・永代供養墓を検討されている方にご安心いただくために』

静岡県 真宗大谷派 正蓮寺 渡邊元浄 住職

墓地や永代供養墓を見学された方にご説明した後、「帰って息子に話してみますが、うまく伝えられるかどうか、、、」と不安な表情をされることがあります。そんな時は自坊の『まいてら』寺院ページを息子さんに見せて頂くようにお薦めすると、ご安心頂けます。



『利用者が主体的にお寺を選び、連絡できる仕組みによって信頼感を醸成』

広島県 浄土宗 妙慶院 加用雅信 住職

『まいてら』寺院ページを見た方が、納骨堂の見学に来られたり、水子供養や悩み相談の依頼など、徐々に新たなご縁に繋がっています。一方的にお寺を紹介されるのではなく、利用者が主体的にお寺を選び連絡できるという『まいてら』の仕組みが、サイトへの信頼感につながっているようです。



『インターネットでの依頼が多い「水子供養」』

山口県 浄土宗 瑞相寺 三谷彰寛 住職

水子供養で頼ってくださる若いご夫婦が増えています。『まいてら』では、住職の顔が見える安心感があるようです。大きな悲嘆を抱えた方に少しでも前に進んでいただけるように、自坊が受け皿となっていきたいです。



『檀信徒からは切り出しにくいお布施のコミュニケーション』

愛知県 浄土宗 西山禅林寺派 宝泉寺 伊藤信道 住職

元総代さんの家の葬儀が終わった後、「お布施をどうするか？」と悩まれたそう。それを聞いていたお孫さんがまいてらを見ていたので「気軽に相談してくださいと書いてあるよ」とアドバイス。お布施に関する相談をしてもらえました。



『住職の「思い」が伝わり、悩み相談に発展』

東京都 浄土真宗本願寺派 浄音寺 高山一正 住職

住職インタビューによって私の「思い」が伝わり、はじめてのご縁の方が訪れて悩みを打ち明けてくれました。「悩み溢れる新宿のよろず駆け込み寺でありたい」という、自坊のメッセージが届いたのだと実感しました。



『自然な形でお寺の活動を発信。地域・檀信徒からの信頼を高める』

長野県 真言宗智山派 長谷寺 岡澤慶澄 住職

自分が自坊の信頼性を社会に向けてアピールすることは出来ないので、『まいてら』のようなサイトがあると助かります。地域の若い世代の方が『まいてら』を通じて私の活動を知ってくれており、これから上の世代や檀信徒にも周知していきます。



『第三者媒体での発信により手前味噌にならずに活動をアピール』

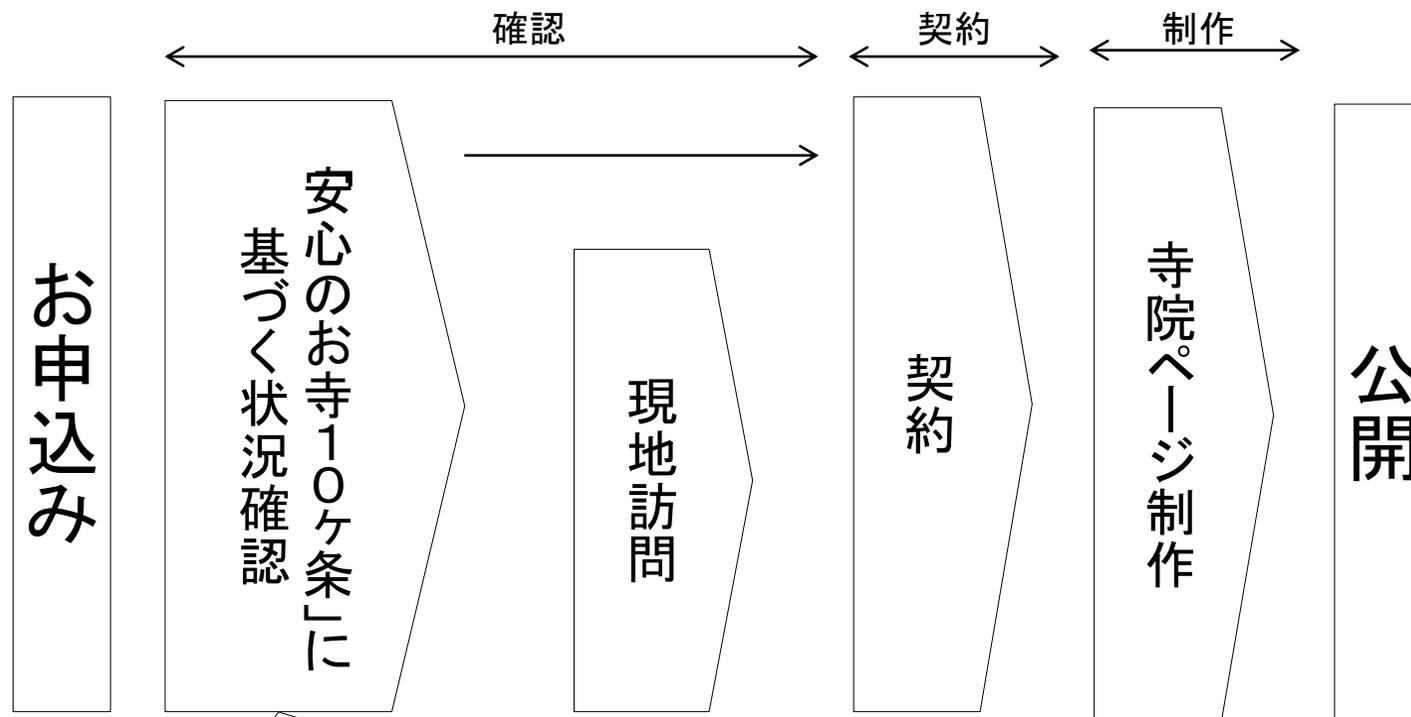
奈良県 浄土宗 善福寺 桂浄薫 住職

『おてらおやつクラブ』の活動に力をいれていますが、毎月行なうおやつの発送作業の参加者募集告知を「まいてらカレンダー」に掲載してもらっています。掲載記事は、まいてらのFacebookページでのシェアやメールマガジンへの掲載もあるので、自坊のHPでの発信だけでは届かないような人たちへのアピールに繋がってます。



登録申込方法

お申込みから公開まで約3ヶ月を想定しています(早期公開(制作2ヶ月以内)の場合、割引が適用)



[提出資料]

- ・安心のお寺情報シート(寺院の状況を入力いただくエクセルシート)
- ・寺院規則のコピー
- ・財産目録のコピー

注) 審査の過程で、収支計算書・登記簿謄本のご提出、または職員による事前訪問をお願いする場合がございます

安心のお寺10ヶ条

『まいてら』への寺院登録は、「安心のお寺10ヶ条」に基づいて判断されます。

必須項目(第10条)は満たす必要がありますが、それ以外の項目は全て基準を満たす必要はなく、どの部分にお寺の特長がよく表れているかを加点評価し、総合的に登録の可否を判断します

[第1条:確かな理念・方針]

お寺が世の中や人々にどのような価値を提供するかという使命と、その価値を実現する方策が明確になっている

[第2条:仏教・寺院運営に真摯な僧侶・スタッフ]

仏教の味わいを伝える確かな信仰・見識・技法・包容力を備えた僧侶と、協働して寺院運営に取り組む、寺族などのスタッフがいる

[第3条:まごころの弔い(葬儀・法事・お墓)]

受け手の視点に立ち、亡き人とのつながりを感じられる、心のこもった丁寧な弔いの儀礼を執り行っている

[第4条:充実したエンディングサポート]

良き死を迎えるためのお寺らしい学びや支援の仕組みが整っている

[第5条:仏教の智慧に触れる祈り・体験の場]

仏教の豊かな智慧に触れられる、法話会、坐禅会、写経会、祈願・祈祷をはじめ、様々な法要や仏教体験が充実している

[第6条:活発なお寺コミュニティ]

年齢・性別・社会的立場を超えて、檀信徒や地域社会の人々が集い、様々なテーマで活動し、相互のご縁を深めている

[第7条:慈悲の社会福祉活動]

困難な境遇にある人々や様々な社会的課題に対し、未来志向で温かい支援の手を差し伸べている

[第8条:整った施設・設備]

気持ちよくお参りできるよう本堂・境内・墓地等が掃き清められ、宗教空間の品格と雰囲気備えている

[第9条:財務の安定性]

長期にわたって健全な運営を実現し、檀信徒への経済負担を抑えられるよう、安定した財務管理が行われている

[第10条:堅実な管理運営] (必須)

宗教法人としての法令順守は当然のこと、様々な規約の整備や、情報管理の体制が整っている

料金体系

※金額はすべて税抜表示です

※2019年4月時点での価格となります。今後変更となる場合があります

※やむを得ない事情による分割払いについてもご相談を承ります

項目	内容	価格	備考
初期登録料	・提出資料に基づく登録判断 ※お電話で簡単な面談をさせていただく場合もございます	10,000円	
基本制作費	・寺院ページの作成(お坊さん紹介、見どころ、行事・お祝い、法事、会員制度、お問合せフォーム) ・原稿の助言 ・写真データの加工調整	160,000円	・予定制作期間内の公開の場合、 <u>10,000円割引</u>
年会費	・寺院ページ修正対応 ・まいてらカレンダーへの告知掲載 ・まいてら新聞への記事掲載 ・寺院運営に関する相談等	30,000円/年以上 (ご懇志制)	

【オプションタブ】

項目	内容	価格	備考
お墓	・お墓紹介ページの作成(写真データ加工含む)	20,000円 (追加注文の場合30,000円)	
お葬式	・お葬式紹介ページの作成(写真データ加工含む)	10,000円 (追加注文の場合20,000円)	
祈願祈祷	・祈願紹介ページの作成	5,000円 (追加注文の場合10,000円)	
各種供養	・各種供養紹介ページの作成	5,000円 (追加注文の場合10,000円)	

- お申込みをご希望の寺院は、まいてら事務局までご連絡ください
- 「詳しく聞いてみたい」という方には、お電話等でのご説明も行なっています。事務局までメールにてお気軽にご連絡ください

– Mail : mytera@oteranomirai.or.jp